



公益財団法人東京都人権啓発センターでは、「体験」や「交流」の視点で人権啓発プログラムを実施してきました。人権啓発行事「新たな人権啓発のカタチ」では、映画のユニバーサル上映に加え、多様な人が共に支え合う「インクルーシブシティ東京」の実現に向けて行った3つの発明プロジェクトの紹介や、東京から人権について考えるトークを行います。

13:00

▶トークプログラム① 体験・交流型の人権啓発とは? (公財) 東京都人権啓発センター専門員 ほか

解説「ユニバーサル上映ってなに?」

▶ユニバーサル上映

梅切らぬバカ

2021年・日本・77分

監督: 和島香太郎

主演: 加賀まりこ、塚地武雅

加賀まりこと塚地武雅が親子役で共演し、老いた母と自閉症の息子が地域コミュニティとの交流を通して自立の道を模索する姿を描いた人間ドラマ。古い業を営む山田珠子は、自閉症の息子・忠男と暮らしている。珠子は自分がいなくなった後のことを考え、知的障害者が共同生活を送るグループホームに息子を入れることに。しかし環境の変化に戸惑う忠男はホームを抜け出し、厄介な事件に巻き込まれてしまう。

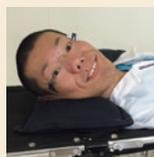


©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト

第1部

▶トークプログラム②

働くて、どんなこと

さとみ きくお
里見 喜久夫
雑誌『コトノネ』編集長あそどっぐ
お笑い芸人

15:30

◆入れ替え

16:10

▶トークプログラム③

人権啓発のいま
~障害者の人権を
起点に~さえくさ けんじ
三枝 健二
(公財) 東京都
人権啓発センター理事長さかもと しげき
坂元 茂樹
(公財) 人権教育啓発
推進センター理事長

解説「ユニバーサル上映ってなに?」

▶ユニバーサル上映

破戒

2022年・日本・119分

監督: 前田和男

主演: 間宮祥太郎

名だたる巨匠が映画化してきた島崎藤村・名作「破戒」の再映画化。瀬川丑松(間宮祥太郎)は、被差別部落出身ということのを隠して、地元の小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていたが、出自を隠していることに悩み、下宿先の士族出身の女性・志保(石井杏奈)との恋に心を焦がしていた。



©全国水平社創立100周年記念映画制作委員会

第2部

18:50

参加お申し込み方法

WEBフォーム



<https://www.tokyo-jinken.or.jp/contents/event/ev-movie-index.html>

WEBフォームか電話で
お申し込みください。

電話

TEL 03-6722-0085
(平日9:00~17:45)

締め切り

2023年3月13日(月) 13:00
託児希望の方は3月10日(金) 13:00までに
お申し込み下さい

事前に下記をご確認のうえ、お申し込みください。

- ご希望の映画をお選びください。第1部・第2部続けてのご参加も可能です
 - お席のエリアをお選びください。
- 申込多数の場合は抽選
- [A] どこでもかまわない
 - [B] 車いすおよび補助犬同伴席：広めなスペースかつフラットな前方席
 - [C] 出入口に近い席：頻繁な出入りが必要な方向への前方席
 - [D] スピーカーから離れた席：音声ガイドが比較的利用しやすい中央付近の席
 - [E] ヒアリング・ループ対応席：前方席

お問い合わせ

公益財団法人 東京都人権啓発センター

〒105-0014 東京都港区芝二丁目5番6号 芝256スクエアビル 2階
TEL 03-6722-0085 URL▶ <https://www.tokyo-jinken.or.jp/>

※個人情報は申し込み手続き以外には使用しません。
※トークプログラムについては後日アーカイブ配信予定。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催内容に変更が生じる可能性があります。